

Game Report

開催場所：九州共立大学 鶴鳴記念館

試合区分：第23回全九州大学バスケットボールリーグ戦 男子1部

試合期日：2016年9月11日(日)

試合時間：15:40～

主審：山崎 誠二

副審：峰 聡

日本経済大学	● 72	18	—1st—	24	○ 100	鹿屋体育大学
		9	—2nd—	20		
		26	—3rd—	19		
		19	—4th—	37		

第1ピリオド

ここまで3戦負け無しの日経大は、#31矢野のリバウンドからオフェンスのリズムを作っていく。対する鹿体大は#43横川、#6森山のガード陣が試合をコントロールする。一進一退の攻防の中、先に抜け出したのは鹿体大。#43横川のバスケットカウント、#17土器手の3Pシュートが連続で決まり、日経大を突き放す。終盤、なんとか食らいつきたい日経大は#7鄭が3Pシュートを決める。18-24、鹿体大の6点リードで第1ピリオド終了。

第2ピリオド

ベンチメンバーも多く出場する第2ピリオド。存在感を見せたのは鹿体大の1年生、#12川尻。積極的にリバウンドに飛び込み、鹿体大のセカンドチャンスを演出する。流れを変えたい日経大は#7鄭を再投入。果敢にシュートを狙うも、鹿体大の激しいディフェンスに阻まれ、得点を伸ばすことができない。終盤、鹿体大は緩急を付けたオフェンスで日経大のディフェンスを切り崩していく。前半終了間際、鹿体大#25石山の3Pシュートが決まり点差は17点に。27-44、鹿体大リードで前半を折り返す。

第3ピリオド

後半最初の得点は、日経大#7鄭のゴール下。これを皮切りに日経大は、激しいディフェンスから速い展開のオフェンスに持ち込んでいく。日経大が流れを取り戻したかに思われたが、鹿体大#29宮崎が連続で3Pシュートを決める。鹿体大の攻撃を食い止めたい日経大は、残り6:54、タイムアウトを請求。タイムアウト明け、両チーム点が入らず均衡状態が続くが、#7鄭、#9山崎の3Pシュートが決まり、日経大が差を縮めていく。しかし鹿体大リードは変わらず、53-63で勝負は最終ピリオドへ。

第4ピリオド

勝負の第4ピリオド、先手を取ったのは鹿体大。#43横川のレイアップ、#25石山のシュートで流れを掴む。追いつきたい日経大は、残り5:35、タイムアウトを請求。タイムアウト明け、日経大はファウルゲームに持ち込み、逆転へ望みを繋げる。しかし、鹿体大は与えられたフリースローを確実に決め、日経大の追撃を許さない。日経大は、#9山崎、#1武田が意地の3Pシュートを決めるも及ばず。最後まで堅実なバスケットを続けた鹿体大が72-100で勝利し、欲しかった2勝目を手にした。